

■「団体交流会」開催のお知らせ

～広報の得意・不得意、シェアして解決！～

今年度2回目の「団体交流会」を、下記のとおり開催します。今回は、すべての団体に関心をおもちであろう、広報やPR、集客をテーマに、得意な方(団体)も不得意な方(団体)もいっしょに集まり、お互いにいろいろ話して、聞いて、体験ができるような場にします。

最近では、インターネット(SNSなど)を使った広報は不可欠です。不得意な団体は、得意な団体の人と交流して、どのように活用しているかなどのヒントをもらい、問題解決の糸口を探しませんか?得意な団体は、ぜひ不得意な団体の方の悩みを聞いてあげてください。団体のつながりが深まり、何か新しい活動の展開が生まれるかもしれませんよ!



日時: 平成28年9月22日(木・祝) 13時30分～16時

場所: 千葉市民活動支援センター会議室

※飛び入り参加も歓迎ですが、準備の都合上、参加希望の方は事前にセンター宛てお申し込みください。

※スマホやタブレット、パソコンの持参もおすすめです。

■「発想法でやわらかア・タ・マ」

好評のうちに終了!

7月30日(土)、専門家による講座「発想法でやわらかア・タ・マ」を開催しました。

いわゆる発想で大切なのは、頭をフル回転して、繰り返し考え抜くこと。これ!というアイデアを出すためには、発想法のさまざまなツール紹介や発想トレーニングが必要ではないかということから、この講座の企画がはじまりました。

進行は「千葉でファシリテーションを語る会」。30名の定員に対して、十数名のキャンセル待ちが出る人気講座となりました。

当日は、発想法のツールである「マングラート」

「死者の書」「ブルートシンク」などを使いながら、お題(「旅」と「こんな喫茶店があったらいいな」の2題)をこなしました。

「自分の頭が硬くなっていることに気づいた」「今までの考えを変えなければ、いいアイデアが出てこないことがわかった」「プログラムのすべてが面白く、これから利用したい」と、前向きな感想が集まりました。センターとしては、団体さんがもう少し参加してくれればもっとよかったと思いました。



ミニコラム

ちばさぽの風 vol.15

——“まちづくり”のタネを育てる——

“まちづくり”という言葉には法的な定義はなく、一言で説明することが難しいのですが、私は「誰もが暮らしやすい、ハードとソフト両面の環境形成を進めること」だととらえています。そう考えると、公益的な課題・問題に自発的に取り組む市民活動は、市民が主体となった“まちづくり活動”に他ならないと言えるでしょう。

さて、私は当センターで「NPO運営・市民活動入門相談」の相談員をしていますが、団体でなく、「これから活動を始めたい」という個人の方からの相談も多くあります。その中でも最近目立つのが、「自分がやろうとしていることは市民活動と言えるのか?」「知人に話をしたらここを教えてもらったけれど、見当違いなのでは?」などといった疑問からスタートするケースです。

しかし話を聞いてみると、やろうとしていることは、空き家を利用した高齢者の居場所づくり、学校で使う学用品のリユースの促進、書道文化を広めて親しんでもらう活動など、どれも問題なく市民活動の範疇に入るものばかりでした。「市民活動が何かは知らないけれども、市民活動(と呼ばれている活動)に取り組もうとしている個人が増えている」という印象です。私は、市民活動という言葉がなかなか広く認知されないことを憂慮していたのですが、こうした個人の動きを直に知り、言葉が認知されていなく

ても、それは大きな問題ではないかもしれないと思い直しました。

上述したような、個人の発意で市民活動を始めようという動きは、新しいまちづくり活動のタネ(種)である、と言ってもよいでしょう。そのタネが芽吹いて実際に活動が立ち上がることは、市民主体のまちづくり活動の萌芽です。先日、相談に来られた方と、センター外のとある集まりで偶然顔を合わせました。実際に活動を立ち上げられたようで、相談員としてとてもうれしい瞬間でした。これからも、タネを育て、芽を育てるという感覚で相談対応や支援にあたりたいと思います。「まちづくりのタネを持っている」という方や、「市民活動は知らないけれどまちづくりには興味がある」といった方、どうぞご相談ください。(原)

